

海老名市立わかば学園 支援プログラム（放課後等デイサービス）

法人理念	1 障がい児・者、高齢者のノーマライゼーションの実現から「ソーシャルインクルージョン」（共生社会）を目指します。 2 社会・福祉・介護ニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開します。		
支援方針	・利用児童一人ひとりの年齢と発達に応じた、さまざまな療育プログラムを提供し、発達の促しをサポートしていきます。 ・家族には、生活上のアドバイスを一緒に考えて行い、家族が安心して子育てできる様に支援します。		
営業時間	平日：16：00～17：30（90分） 土曜：10：00～17：00（90分）	送迎実施の有無	一部実施

項目		支援目的および狙い	具体例
本人支援	健康・生活	＜基本的生活スキルの獲得＞ 身の回りの整理整頓、持ち物の管理、食事、衣類の着脱等の生活に必要な基本的技能の獲得や積み重ねを支援する	・プール活動時に衣類の着脱をする ・持ち物を入れるカゴを用意し、自分で必要なものの出し入れする ・調理プログラムを通して食事時の支援をする
		＜構造化等により生活環境を整える＞ 様々な活動を通して生活スキルの積み重ねができるように、本人の特性に合わせて時間や空間をわかりやすく構造化する	・スケジュールや手順書を使用した支援をする ・タイムタイマーを用いて終わりの提示をする ・刺激を統制するためにパーティションの使用や別室での活動を行う
	運動・感覚	＜姿勢と運動・動作の基本的技能の向上＞ 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動動作の確認および獲得支援を行う	・本人に合ったイスの高さの調整や足置き、座面補助などを使用する ・調理や製作の道具を使用し、微細動作の確認をする ・公園や体育館での活動や遊びなどの粗大運動の機会を設ける
		＜保有する感覚の活用＞ 活動プログラムを通して、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用する	・絵の具遊びやスライム、小麦粉遊びなどの触覚を使った遊びを行なう ・トランポリンやブランコなどの前庭覚を使った遊びを行なう
		＜感覚の特性への対応＞ 感覚や認知特性を踏まえ、本人に合った環境調整等の支援を行う	・聴覚過敏のある子どもに対してイヤーマフを使用する ・触覚に過敏がある子どもに対して手袋を用意する
	認知・行動	＜認知や行動の手がかりとなる概念の形成＞ 物の機能や属性、形や色、時間や空間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるようにする	・調理や製作などで様々な食材や素材を使用し、実物と言葉を繋げる ・数列を用いた手順書やタイムスケジュールを使用し、順番や時間の概念を形成する
		＜認知の偏りへの対応＞ 認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理できるように支援する。また、認知の偏りなどの個々の特性に配慮する。	・イラストや写真などを用いたスケジュールや手順書を用い、視覚的にやることを捉えられるように支援する ・視覚刺激や聴覚刺激などを統制し、情報を処理しやすくしたり、活動に取り組むやすくなるように環境を調整する
		＜行動障害への予防及び対応＞ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、および適切行動への対応の支援を行う	・不快な状況や不安定な気持ちになった際のコーピングスキルや代替行動を知る ・場面ごとにおける適切な行動を事前に確認し、その都度促して積み重ねる ・適切な行動をした際に、肯定的なフィードバックを行い、同じ行動を繰り返しやすい状況にする

	言語・ コミュニケーション	＜受容言語と表出言語の支援＞ 話し言葉や文字・記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する	・写真やイラストなどを用いた選択を通して意思を発信する ・ワークシートを利用し、伝える内容を書いてから伝える ・具体的で、端的な言葉でわかりやすく指示を伝える
		＜人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得＞ 能力の獲得個々に配慮された場面における人との相互作用を通してコミュニケーション能力を向上する	・活動道具やおもちゃの貸し借りを通したコミュニケーションを獲得する ・困ったときにHELPを出す経験を積む ・友だちに声をかけるときのマナーやルールを知る
		＜指差し、身振り、サイン等の活用＞ 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるようにする	・場面に応じた意思伝達のジェスチャー習得をする ・選択ボードなどを用いた指差しによる選択機会を設ける
	人間関係 社会性	＜一人遊びから共同遊びへの支援＞ 一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する	・同じ遊び道具を共有して使う経験 ・おにごっこやドッチボールなど運動を通した集団遊び ・カードゲームやボードゲームを用いたルールのある遊び
		＜自己の理解とコントロールのための支援＞ 大人を介在して自分のできること、苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようする	・勝ち負けのある遊びを通した気持ちの切り替えを練習する ・思い通りいかなかったり、嫌なことがあったときのクールダウン方法を覚える ・困った時、うまくできないときのコーピングスキルを知る
		＜集団参加への支援＞ 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する	・活動の流れの見通しを持つためのスケジュール提示をする ・集団で遊ぶ際に視覚的補助を用いたルール説明をする
地域支援・地域連携 （地域交流・園外活動）		・地域商業施設、公共交通機関、公園などの利用 ・小学校、学童クラブ、他事業所との連携	
移行支援		・卒業後の進路についての相談	
家族支援		・療育時に保護者担当による面談および必要に応じた面談 ・法人保護者勉強会 ・各種情報提供	
職員の質の向上		・支援スキル研修（ムーブメント研修、ケース検討、外部研修など） ・事業所内研修（虐待防止研修、感染症防止研修など） ・ブックレポート	
主な行事等			